

# 沖合底曳網の漁具特性の把握

漁業生産工学部

(協力: 福島県水産事務所)

## 研究の背景・目的

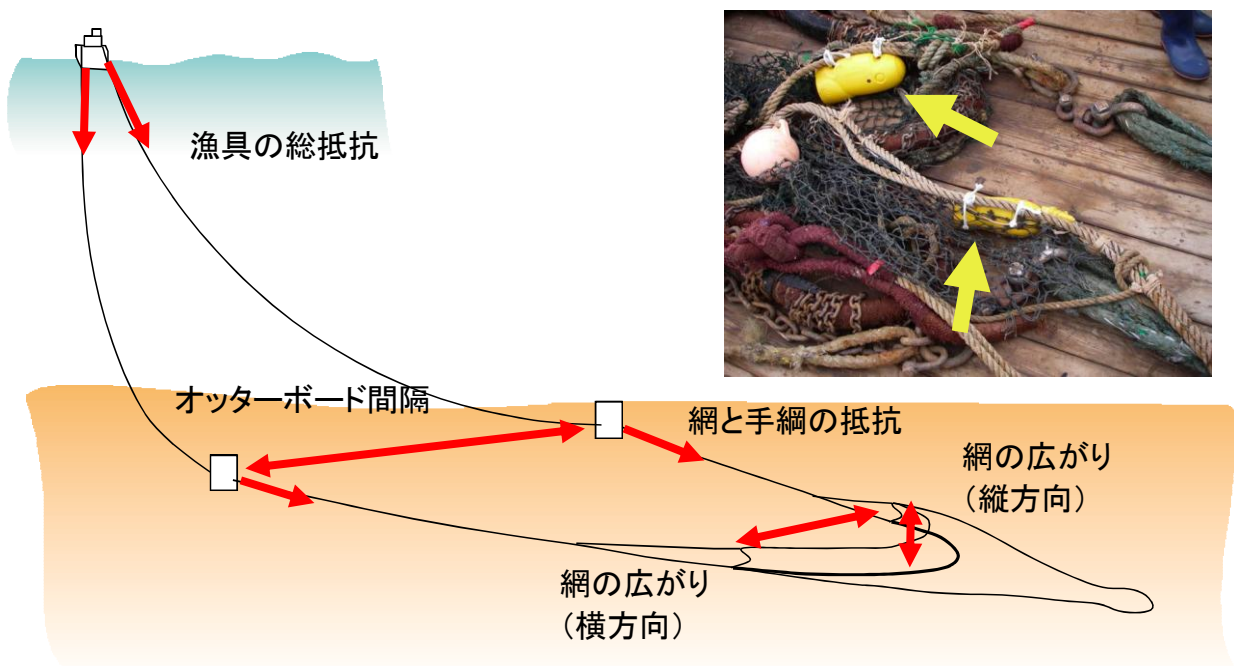
1. 底曳網が海底環境に与える影響が懸念されている。
2. 海底環境に与える影響を緩和する底曳網を開発するためには、まず、現在の漁具の特性を把握する必要がある。
3. トロール網に取り付けた各種計測機器により、漁具の抵抗や網の広がりを計測する。

## 研究成果

1. 関東・東北地方の太平洋側で操業する、沖合底曳網漁具の詳細を把握した。
2. 試験操業による計測から、漁具の抵抗や網の広がりを明らかにした。
3. これらの知見は、海底への影響を緩和した漁具を開発するための基礎的資料となる。

## 波及効果

海底環境に与える影響を緩和し、かつ漁獲の大幅な減少を招かない底曳網の開発が可能になる。



19トン型沖合底曳網漁船で実施した測定項目(下)と、計測機器の一部(右上)

(漁法研究室・藤田薫, 山崎慎太郎)